

# 大誉地集落センター

■所在地	北海道足寄郡足寄町大誉地本町 14-5	■木材使用量	41.27m <sup>3</sup>
■設置者	足寄町	うち地域材	37.54m <sup>3</sup>
■構造	木造平屋建	■使用樹種	構造 カラマツ
■延床面積	220.27m <sup>2</sup>		内外装 カラマツ



## ◆施設の概要

この施設は、地域の集落センターとして既存施設の建替え計画により整備を行い、構造材及び造作材には地域材であるカラマツ材の利用にこだわり、カラマツ材の良さをPRできる施設としました。

集落センターは地域の葬儀等にも利用されることから、多目的に利用可能な間取りとし、災害時の避難所としての指定も受けることから、停電時対策として電源不要のペレット・薪兼用ストーブの設置や、発電機を接続することにより最低限の照明と電源を施設内部で利用可能とする設備を設けています。

## ◆工法等の特徴

この施設は、集会室に中断面集成材の梁を露出させ、梁天端から照明を上向きとし天井面をフラットにすることで木造軸組みを最大限に表現しています。

外壁では玄関周辺をカラマツ羽目板貼りとし、テラスの外壁には木材を乱張りし凹凸を出すことで、木材の質感を際立たせています。

## ◆整備に当たり苦慮したこと

集会室を大空間とするために、梁の長さや梁せいでコスト比較を行い中断面集成材を利用し、空間に柱を残すこととしました。外壁木質仕上げ部には雨掛かりと直射日光をなるべく避ける配慮として庇を設けました。

## ◆利用者の声

「内装の木質化により暖か味のある施設となった」や「木の香りが良い」などの感想も聞かれ、木材を利用したことによる体感的な効果を実感できる施設となりました。